

給食で実施した、盲学校ならではの献立を紹介します

3月18日 点字ブロックの日

点字ブロックは、1965年（昭和40年）に三宅精一^{みやけせいいち}氏によって考案され、1967年（昭和42年）3月18日、岡山県立岡山盲学校付近の交差点に世界で初めて敷設されました。「点字ブロックの日」は、この日を記念して岡山県視覚障害者協会が2010年（平成22年）に申請し、承認された記念日です。

【 誘導ブロック焼き 】（令和3年3月18日実施）

・セサミパン、誘導ブロック焼き、野菜と豆のトマト煮、野菜スープ、牛乳

（本校の牛乳は普段は低温殺菌牛乳ですが、この時期は牛乳工場の都合で普通牛乳が納品されていました。）



「誘導ブロック焼き」は、チーズオムレツを正方形に近い形に切り分け、マッシュポテトで突起をつけて更に焼いた料理です。マッシュポテトを焼くことにより、表面が固まって手で触っても形状を感じることができます。また、ポテトにはカレー粉を加えて、より誘導ブロックらしい見た目になるように工夫しました。

下は、給食室で焼きあがった状態です。つながっていると、さらに誘導ブロックらしい感じがしますね。



11月1日 点字の日

日本点字制定記念日ともいい、日本点字の決定を記念する日です。日本点字が決定する前は欧米の点字を利用したローマ字つづりによって日本語を表していましたが、1890年（明治23年）11月1日に開かれた選定会いしかわくらじで石川倉次による案が採用されて日本点字が決定しました。

【 点字焼き 】（令和2年11月2日実施）※1日が日曜日だったため2日に実施

・ごはん、点字焼き、野菜のごま炒め、かぶの甘酢漬け、みそ汁、牛乳

左の写真

上段「ク」

下段「キ」



右の写真

上段「コ」

下段「ヌ」



鶏ひき肉と豆腐で作った生地にうずら卵を埋め込んで、点字に見立てました。幼稚部と小学部には2個、中学部には3個の卵を使って、何種類かの文字を用意しました。配置に触れて読むことができます。完成品は卵に焼き色がついてしまい、写真だと生地と区別がつきにくくなってしまいましたが、実物は凹凸がはっきりしていました。下は焼く前の写真ですが、こちらのほうが文字がはっきり読めます。

卵3個 左「エ」「キ」「ク」 右「コ」「ヌ」「ノ」

卵2個「オ」「ウ」「イ」「カ」「ナ」3個「ニ」



※令和3年の点字の日には、点字を発明したフランス人ルイ・ブライユにちなんでフランス料理を作りました。オリパラ給食とコラボしていたので、そちらのファイルで紹介しています。